



令和2年度

南小だより

川崎市立霞ヶ関南小学校

学校だより 第7号

□令和2年8月18日

□児童数：231名

(R2.8.17 現在)

□校長：武蔵 昌行

【学校教育目標】○やる気 ○思いやり ○げん気

～子供たち一人一人が、学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる学校～

昨日より、暑さの厳しい中、2学期が始まりました。16日間の短い夏休みでしたが、交通事故等の大きな事故や感染症の感染等の報告は無く、2学期を無事に迎えることができました。

しかしながら、感染症が収束されない状況での2学期の開始や、熱中症が心配される気温等を考慮しますと、学校生活の中で「できること」と「できないこと」が生じてきます。子供たちには、昨年度までと同じ活動ができないもどかしさや不満もあることと思いますが、「子供たちの安全第一」で教育活動を展開してまいります。保護者の皆様におかれましては、引き続き、日々の健康観察や家庭学習の支援等、様々な面でご支援・ご協力をお願いすることになりますが、ご理解のほど、宜しくお願いいたします。

2学期当初の教育活動について

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で2学期が始まりました。重篤化するケースが減っているとはいえ、感染者数は緊急事態宣言下を大きく上回っており、感染症防止の取組は引き続き実施していかなければなりません。学校でも、**「3つの条件（換気の悪い密閉空間・多くの人の密集・近距離での会話や発声）が同時に重なる場を避ける」**という教育委員会の方針のもと、教育活動を展開してまいります。また、お盆休み・帰省休み直後の2学期開始を考慮し、8月中は1学期同様、感染症防止を優先した教育活動を行います。7月の懇談会で示した方針による教育活動は9月より行います。

連日気温35℃を超える猛暑の中での学校生活では、「熱中症防止」を意識した教育活動も必要です。3・4年生の教室も、感染症防止を優先した特別教室から、エアコンが使用できる普通教室に昨日より移動しました。普通教室でも、できる限り間隔を取り、3密を防いでいきます。全体では、換気を気をつけながらのエアコンの使用、十分な水分補給、外（校庭）での学習の制限、「暑さ指数」の確認等をしながら、暑い中での学校生活に対応してまいります。

暑さに対応できる体力の判断基準として、従来の「健康観察記録表」による健康観察を引き続きお願いします。体温や朝食の有無は、体力の道標となります。調子の悪いときには無理をさせないよう、ご判断ください。尚、現在使用している「健康観察記録用紙（水色）」は、8/23で終了します。新しい記録用紙を21日（金）に配布いたしますので、24日（月）よりご使用ください。また、使用済みの記録用紙は廃棄せず、各ご家庭で保管をお願いします。

新たな形での教育活動が始まります!!

20日（木）より「木曜日課」がスタートします。臨時休業により削減された授業時数を確保するための取組で、授業時間が40分間となり、1年生は6コマ（下校 14:30）、2～6年生は7コマ（下校 15:20）実施します。下校時刻が変更となりますので、ご注意ください。

日々の授業においては、前時までの振り返りを十分に行う時間がとれません。その日に学んだ内容は、家庭学習で復習し、定着させていくようになります。今まで以上に、宿題や自主学習による家庭学習が大事になってきます。家庭学習への声かけや見届けなど、お子さんの学習習慣により、個別にご協力をお願いすることもあります。宜しくお願いいたします。